

## 2021(令和3)年度 部局マニフェスト ～私たちの組織使命と目標～

部局名	人権生活環境部
役職	部長
氏名	澤田 之伸
2021(令和3)年度の抱負	すべての市民の人権を守り、人に優しく環境にも優しい施策を講じます。



<b>業績目標の達成状況</b> 5. 先進的な取り組みを行い、成果があった 4. 達成水準を上回る成果があった 3. 業績目標を達成した 2. 取り組んだが、業績目標を達成しなかった 1. 業績目標に取り組まなかった
--

組織使命	組織使命達成に向けての目標	目標の達成水準	目標を達成するための手段
◎部局目標1	すべての市民の人権と基本的な自由を尊重する。 人権施策総合計画など人権に関わる計画の推進	〈現在の状態〉 人権施策に基づき各課が事業を行っているが達成度の低い事業がある。 ↓ 〈達成目標〉 人権施策に基づき実施した事業の達成度(人権施策総合計画等の成果指標)が「達成できた(90%以上)」「ほぼ達成できた(60%以上90%未満)」が概ね70%(2/3)以上とする。  ※目標が達成した状態 一市民人ひとりの人権が守られ安心して生活できる。	各課が実施する人権施策に基づく事業の取組状況を把握し、PDCAサイクルが確実に回リスパイラルアップできているかを確認する。
◎部局目標2		〈現在の状態〉 人権施策に基づき講演会などの事業を実施しているが、満足度が低い事業がある。 ↓ 〈達成目標〉 講演会など参加者の満足度を概ね70%以上を目指す。  ※目標が達成した状態 一市民人ひとりの人権が守られ安心して生活できる。	参加者の意見を集約・検証し、講演内容・講師選定など今後の事業展開の参考とする。

達成状況(自己評価)	理由
3	昨年度はコロナウイルス感染症の影響を受け、789事業中「達成できた、ほぼ達成できた」は473事業で約60%だった。本年度は、オンライン講演会やYouTubeなど新たな手法を取り入れ、コロナ禍でも実施していた。
3	コロナ禍につき実施できた講演会や地区懇談会は限られていたが、実施した講演会(12月5日)の満足度は90%を超えていた。また、地区懇談についても依那古、神戸、古山地区で実施したが満足度はいずれも100%に近い満足度だった。

組織使命	組織使命達成に向けての目標	目標の達成水準	目標を達成するための手段	達成状況 (自己評価)	理由
◎部局目標3					
すべての市民の人権と基本的な自由を尊重する。	男女共同参画基本計画の推進	<p>〈現在の状態〉 審議会等の女性登用率が低い(24.9%) ↓ 〈達成目標〉 25.0%以上及び選任方法を指導する。</p> <p>※目標が達成した状態 審議会等の女性登用率が上がることで、多様な意見が市政に反映される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各課が所管する審議会等の選出時期を調査する。</li> <li>選出前に各課の女性登用方法のヒアリングを行う。</li> </ul>	▶ 3	女性登用率の低い審議会を所管する課に具体的な選任方法をアドバイスするなど指導を強化した。また、年度末で、登用率が減少した審議会もあったが、24.9%と横ばいで維持ができた。
◎部局目標4					
身近な自然環境を保全し、豊かな自然を次代に継承する。	伊賀市環境基本計画の策定	<p>〈現在の状態〉 環境に関する計画がない。 ↓ 〈達成目標〉 環境基本計画を策定する。</p> <p>※目標が達成した状態 環境に配慮したまちづくりを推進する。</p>	<p>昨年度実施した環境に関する市民意識調査を分析し、骨子・素案検討後中間案を作成し、パブリックコメントを実施後、最終案の作成。</p>	▶ 2	最終案までには達しなかったが、中間案まで作成し、計画策定は早くても来年度6月議会以降となる。
◎部局目標5					
市民が安心して暮らせる生活環境を整備する。	伊賀市空き家等対策計画の推進及び進捗管理	<p>〈現在の状態〉 空き家バンク事業では、昨年度成約は25世帯。古民家再生活用事業1期中3棟開業。約130件の特定空き家がある。 ↓ 〈達成目標〉 空き家バンク事業では年間成約数30世帯を目指す。古民家再生活用事業2期物件2棟を選定する。特定空き家2件を略式代執行する。</p> <p>※目的が達成した状態 移住者や関係人口が増加し、地域が活性化する。また、地域の生活環境に悪影響を及ぼしている特定空き家が減少する。</p>	<p>コロナ禍で直接内覧できないが、オンライン内覧会を実施し、空き家バンク事業・移住支援事業を充実させる。 古民家再生活用事業は協定団体・事業者と連携し物件を選定する。 特定空家所有者に対する指導を強化する。</p>	▶ 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き家バンク事業は年間成約数30件の目標に対して11月末時点で26件の成約数(約3件/月)があり、年度末で30件を超える予定。なお、コロナ禍でも対応できるようHPの工夫やオンライン内覧会を実施した。</li> <li>古民家再生活用事業2期物件2棟(田畑町及び中町)を選定し目標を達成した。</li> <li>特定空き家略式代執行は目標2件に対し、1件は年度内に対応できるが、1件は繰り越すこととなる。</li> </ul>

組織使命	組織使命達成に向けての目標	目標の達成水準	目標を達成するための手段	達成状況 (自己評価)	理由
◎部局目標6					
市民が安心して暮らせる生活環境を整備する。	「伊賀市斎苑」整備計画の推進	<p>〈現在の状態〉 現斎苑は供用開始後約30年経過し、老朽化が激しい。 ↓ 〈達成目標〉 新斎苑を建設するにあたり最適な事業手法を決定し、事業者を選定する。</p> <p>※目標が達成した状態 新斎苑完成までのスケジュールが確定する。</p>	<p>・新斎苑を建設するにあたり事業手法ごとの費用対効果やメリット、デメリットを比較する。</p>	▶ 3	スケジュールどおり実施方針の公表を行い、11月に実施方針説明会、現地説明会を実施した。12月議会で補正予算(債務負担行為)を上程し、要求水準案・選定基準案を公表した。12月28日には第1回審査委員会を開催し、1月初旬には特定事業の選定・公表、募集要項等を公表し、現在、事業者提案期間(5月下旬)である。
◎部局目標7					
市民が安心して暮らせる生活環境を整備する。 すべての市民の人権と基本的な自由を尊重する。	多文化共生推進プランの策定	<p>〈現在の状態〉 外国人住民の滞在の長期化や定住化、日本で生まれ育った外国にルーツを持つ子どもの増加、家族の高齢化などにより行政施策だけでは解決できないことが増加している。 ↓ 〈達成目標〉 多文化共生推進プランの策定に向け、住民アンケートを実施し結果を分析する。</p> <p>※目標が達成した状態 外国人住民と日本人住民が相互理解を深め、協働による共生社会の形成を目指すことができる。</p>	<p>・多文化共生推進プラン策定に関する住民アンケートを実施する。</p>	▶ 3	11月22日多文化共生プラン推進委員会を開催しアンケートの内容を確定させ、現在対象者(個人・団体等)に送付しアンケート実施。2月には結果を集計・分析した。
◎部局目標8					
ごみ(廃棄物)の減量化と、循環型社会を目指す。	伊賀市・名張市のごみの共同処理に向けた取組(伊賀南部環境衛生組合の操業延長を含む)	<p>〈現在の状態〉 令和2年2月に伊賀市・名張市における一般廃棄物処理方法検討会の廃棄物処理施設の広域化提言がされている。 ↓ 〈達成目標〉 ごみの共同処理に向けた協議会設置の覚書を締結する。</p> <p>※目標が達成した状態 伊賀市・名張市のごみの共同処理が実現し、市民の廃棄物処理にかかる費用が低減される。</p>	<p>ごみの共同処理に向けた協議会設置の覚書締結に向け、伊賀市・名張市・伊賀南部環境衛生組合の3者で準備会を組織し、協議する。</p>	▶ 3	伊賀南部クリーンセンターの操業延長に関する伊賀市・名張市の協議が整ったことから、12月に青山ホールで青山地域を対象とした操業延長に係る説明会を実施した。1月には設置協定を結んでいる奥鹿野、福川区への説明会を実施した。なお、来年度早々に地元と操業延長の調印を行い、続いて、ごみの共同処理に向けた協議会設置の覚書を締結する予定である。